

PRESS KIT

# PIAGET

POLO SIGNATURE

受け継がれるゴドロン装飾



ピアジェの大胆なスタイルを完璧に定義する、華やかさと優雅さが融合した「エクストラレガンザ」の芸術性が最も微細なディテールに現れるとすれば、ゴドロンこそがその典型です。この装飾は単なる縞模様ではなく、ピアジェのウォッチを独特の洗練された雰囲気です彩ります。煽情的な素材と、何よりも繊細なレリーフの遊びが、それぞれのPiaget Poloのフォルムを強調し、美しさを引き立てます。1979年から2026年まで、ゴドロン装飾はPiaget Polo 79で主役を務めました。それをきっかけに再設計された定番のPiaget Polo Dateにも登場しています。

PIAGET





## ストーンの核心

1970年代、スポーツシックなスチール製ウォッチが次々と登場した一方で、ピアジェは1979年に発表した、独創的スタイルとモデル名（メゾンにとって初）で注目を浴びたウォッチ、Piaget Poloで歴史に名を残しました。全体をゴールドで鑄造したこのウォッチは、当時の一般的なスタイルコードに逆らい、すぐに前衛的なアイコンとしての地位を確立しました。乗馬に情熱を注いだイヴ・ピアジェは、ポロと社交界への愛を、1980年代の魅力象徴するウォッチに融合させました。このウォッチは、パームビーチのクラブでもニューヨークのシェ・レジヌでも気軽に着用されていました。イヴ・ピアジェは、「Piaget Poloの哲学は一文で表すことができます。それは、ブレスレットがウォッチを特徴づけるのであり、ウォッチがブレスレットを特徴づけるのではないということです」と、好んで口にしていました。数百グラムのゴールド、その独特のデザイン、そして気品は、ウルトラ・アンドレスからアンディ・ウォーホルまで、当時の人々やジェットセッターを魅了しました。

非常に汎用性の高いPiaget Polo 79は、時を経てさまざまなバリエーションが生まれ、今シーズンは同じく38mmで1200P1自社製薄型自動巻ムーブメントを搭載したトゥートーンバージョンで復活しました。イエローゴールド、ホワイトゴールド、そして新たに2種類のゴールドで登場したPiaget Polo 79の成功に続き、Piaget Polo 79はメゾンのもうひとつの象徴であるオーナメンタルストーンで装いました。以前はオニキスやラピスラズリが使用されていましたが、今日初めて、オーナメンタルストーンが貴重なソーダライトバージョンで現代的なラインナップに加わりました。対照的なミネラル文字盤が、ピアジェが大切にしているユニークなゴドロン装飾を際立たせています。

PIAGET

# 崇高なデュオ

2024年、メゾン ピアジェは創業150周年を迎えました。これは、イヴ・ピアジェ自身が大切にしていた伝統、つまり、彼と彼女のためにデザインされた同じ作品で、限りなく汎用性の高いカップル ウォッチを復活させる絶好の機会でもありました。2年後、この象徴的なアプローチは、Piaget Polo 79のシグネチャーであるゴドラン装飾を再現した魅力的な新エディションで継続され、日常使いとして考案されたPiaget Polo コレクション ウォッチをさらにグレードアップしています。歴史的なPiaget Poloに名声をもたらした輝くゴドラン装飾と、Piaget Polo Dateのスポーツシックな外観を組み合わせたこのデュオは、メゾンの時代を超越したエレガンスを象徴するシルバーカラーの文字盤によってさらに引き立てられています。交換可能なラバーストラップ (96個のブリリアントカットダイヤモンドで飾られた36mmバージョンにはベージュ、42 mmバージョンにはカーキグリーンが用意されています)、そして1979年のPiaget Poloのコードにちなんで、この作品は現代にしっかりと根ざしつつ、数十年にわたってピアジェのアイデンティティを形成してきたスタイルコードに完全に準拠しています。

PIAGET





## ニューフェイス

ウォッチズ&ワンダーズ 2026で、メゾンはそのシグネチャーであるゴドロン装飾の魅力と、ソーダライト文字盤を備えたホワイトゴールド製の新作Piaget Polo 79そしてスタイリッシュなカップルウォッチに採用しました。愛され続ける「Piaget Polo Signature Date」の精神にも新たな解釈を加えています。Piaget Polo 79の特徴的なゴドロン装飾の生彩に富む魅惑的なラインの相互作用が、現在、Piaget Poloのブルー文字盤の全シリーズに採用されており、これに42mm ケースサイズの2つの新しいゴールドモデル（スチールまたはピンクゴールドケース、交換可能なラバーストラップまたはスチールブレスレット、ダイヤモンドセットまたはセットなしの文字盤）、さらに3種類の36mmバージョン（スチールケースとダイヤモンドをセットしたインデックス、ダイヤモンドをセットしたベゼルとインデックス、そしてベゼルとインデックスにダイヤモンドをセッティングしたピンクゴールドのプレシャスバージョン）が加わります。この新しい文字盤はピアジェの象徴的なブルーを際立たせ、Piaget Polo Signature コレクションの調和のとれたフォルムの組み合わせ（クッションカットのラウンド型ケース）を高めています。

メゾンの歴史的なシグネチャーのひとつ、繊細さを永遠に刻む 2026 Piaget Polo コレクションは、これまで以上に、時を超える独自の能力を発揮します。1970年代後半、優雅さと格式の規範に革命を起こした新興貴族のために作られた文化的スタイルアイコンであり、今でも典型的なカジュアル シックを体現し続けています。これまで以上に、そのルーツに忠実であり続けるのです。

PIAGET

## ピアジェについて

ピアジェの独特の魅力はその大胆なスタイルにあります。1874年の創業以来受け継がれるクリエイティビティー溢れるスタイルは、華やかな時計やジュエリーに体現されています。大胆な創造性に対する情熱は、スイスのジュラ山脈にあるラ・コート・オ・フェで生まれました。メゾンの創立者であるジョルジュ=エドワール・ピアジェが、その村にある家族の農場の中に最初の工房を設け、高性能ムーブメントの制作をはじめたのは1874年のことでした。このときから時計職人としてのピアジェの名は広く知られるようになります。パイオニア精神を大切にするピアジェは、1950年代後半に薄型ムーブメントの設計・製造に乗り出しました。メゾンを代表する「アルティプラノ」の礎石となるそのムーブメントはピアジェの代名詞のひとつになり、時計製造の世界に確かな足跡を残しました。同時に、ピアジェは常に創造性と芸術的な価値に重きをおき、ゴールドと色とりどりのカラーの融合、新しいシェイプ、高価な宝石、オーナメンタルストーンの文字盤といったスタイルを受け継いできました。卓越したクラフツマンシップのもと、メゾンは「アルティプラノ」、「ピアジェ ポロ」、「ライムライト ガラ」、「シックスティ」、「ポセッション」、「ピアジェ サンライト」、「ピアジェ ローズ」、「エクストリームリー ピアジェ」などの素晴らしいクリエイションを創り続けています。

# PIAGET

WWW.PIAGET.COM  
WWW.FACEBOOK.COM/PIAGET  
WWW.INSTAGRAM.COM/PIAGET/  
WWW.PINTEREST.COM/PIAGET/  
WWW.YOUTUBE.COM/PIAGET  
WWW.LINKEDIN.COM/COMPANY/  
WEIBO.COM/PIAGET

P

